

指導・ご協力・ご支援いただきました
皆さまようお願い申し上げます。
南無妙法蓮華經

お盆会施餓鬼法要 備えあれば憂いなし

編集委員 和田 純夫



今年の「土用丑の日・お盆会追善お施餓鬼法要」は七月二十四日、百三十名を超す多くの檀信徒が参詣して行われました。

法話は「ほうろく灸と丑の日」について、県修法師会々長・高森町本城寺住職 守本崇覚上人が話をされ、皆さん時々相槌をうちなが

ら領いておられました。

特に心に残ったのは、『猛暑が続くこの時期は、ものの変動・変化が顕著で体調も不安定となり病気にかかり易く「頭痛」が多くなります。そこで「丑の日」に「ほうろく灸（火の行）祈禱」を受けることで、いつ何時何が起こるか分からないこの時世であっても日々の信仰・信心により、何事にも悠然と立ち向い怯えなない、怯まない強い心を持つことがとても大切な意味を持つのです。備えあれば憂いなしですよ。』との話には心底より納得しました。

感謝です。



本城寺・守本上人の法話

近くで熱心にメモをとっておられた辻八千代さん（山鹿市鹿央町）は、「初めての参詣ですが、守本上人様のご法話は深く心に残り、感動でいっぱいです。ありがとうございます。ご満面の笑顔でした。」

お盆会追善お施餓鬼法要は十一時、半鐘を合図に大太鼓、団扇太鼓とお題目のなか、住職を導師に六名のお上人さんが入堂され、おごそかに奉行されました。参詣者のご先祖を敬い、各精霊に手を合わせ合掌・読

歴史と文化の街 日本一の装飾古墳と八千代座

山鹿温泉

清流苑 鹿門亭

〒861-0501 熊本県山鹿市下町1768
電話 山鹿 (0968) 43-2101(代)
ファックス (0968) 43-5153

経されていきました。

また、この日は山本勝一さん（山鹿市鹿北町）ら五名の方々への「行衣授与式」もあり、山本さんの「誓いの言葉」を聞き、檀信徒一年生の「卵」の私ですが、諸先輩の方々を見習い、佛さまに受けとっていただく「お題目」を唱えることができるよう初心を忘れず、思いを新たにしたい。「土用丑

学んだ熊本管区研修道場

婦人会副会長 阿蘇品ケイ子

第二十二回熊本管区檀信徒研修道場は、本妙寺星寿林において八月二十六・二十七日の一泊二日で行われ、圓頓寺からは瀬口婦人会会長、木下信行会会長始め八名が参加しました。

の日・お盆会追善お施餓鬼法要」でした。

南無妙法蓮華經



誓いの言葉を述べる山本さん

この研修会は、宗祖のご生誕八〇〇年に向かって、檀信徒が修行に励みながら、「お題目結縁運動」に参加して、立正平和世界の実現と教宣拡張の誓いを新たにすするための修行の場です。研修は二十六日、十二時

三十分の開講式・法味言上で始まり、浜田宗務所長、溝上檀信協会長の挨拶、肥後本妙寺様のご祝辞をいただき、日程説明、記念撮影の後、講義が始まりました。

講師のお上人様は

第一講 八代市浄信寺住職

第二講 山野貫雄師

第三講 高森町本城寺住職

第四講 守本崇覚師

第五講 荒尾市妙国寺住職

第六講 渡辺義俊師

第七講 山鹿市本澄寺住職

第八講 園田匡身師

でした。

二十六日の第一講では、お葬儀の順序・流れについて、臨終から枕経、通夜、葬儀・告別式、忌明まで詳しくお話いただきました。

第二講では、英知上人（第参行）。英人上人（第再行）も成満された荒行につ

和 食 亭

栄太郎

TEL0968-43-8080

山鹿市山鹿郵便局となり



マルカメ醤油・味噌 灯笼じょんじょん

山鹿市中1000-2
☎44-3131

いて、極寒一〇〇日間の荒行の内容についてお話しいただきましたが、想像すらもできない荒行のすごさでした。

二十六日の講義終了後夕勤唱題行がありました。

二十七日は五時三十分起床し、五時四十五分から本妙寺大本堂にて朝勤、続いて清正公御廟所で朝勤を行いました。



芋掘りを楽しむ阿蘇品さん

第三講では、現在は殺伐とした事件が続発しています。日蓮大聖人は「妙法比丘尼御返事」「報恩抄」「随自意御書」などから見通され、解決の道を示されていると感じました。

第四講では、一期一会や俳諧松尾芭蕉の句、日蓮大聖人の大難と生涯などについてお聞きしましたが。特に、日蓮大聖人のお言葉『蔵の財より身の財勝れたり』と話され、私はこれから自らの姿と心を見直して、修行を重ねなければいけないと受け止めながら聴講いたしました。

お上人様方の法話は、休憩はありますが一時間四十分と、こんなに長く法話をお聞きすることは今までになかったものですから、い

ろいろと学ぶことがありました。しかし時々上と下の臉が交差することがありましてコクツとなり、また大きく目を開きながら法話をお聞きしました。



村雲御所で焼香する芋生さん(右から二人目)

婦人会顧問 芋生 敏枝
第二十五回九州教区研修

九州教区檀信徒修道場 法華経が人生の基本

講義終了後、寺庭婦人会の方々の指導で和讃の練習があり、閉講式、昼食をして解散いたしました。

南無妙法蓮華經

道場が、九月十・十一日、宮崎市で開催され、和田純夫さん、木下美枝子さん、私の三名で参加いたしました。

午前八時、熊本交通センター発高速バスに初めて乗り、宮崎へ向かいました。

十日午後一時三十分からの開講式では、宗歌「立ち渡る」斉唱、法味言上、合川天心九州教区長や九州教区檀信徒協議会会長さんらの挨拶、日程説明の後、午

後二時から講義が始まり、休憩を挟んで第一講・第二講が二時間五十分、全布連会長の中村雅輝上人が、『立正安国・お題目結縁運動においてなす可き事』についてお話がありました。私たちは、日蓮大聖人によって体験せられた法華經を人生すべての基本といたします。久遠にわたり衆生を救おうとされている釈迦牟尼佛は、智慧と慈悲をすべて備えられた本師です。私たちは、このみ仏に絶対の信仰をささげます。お寺とは参拝される方にとってやすらぎを与え、幸を祈る場所。仏様の優しいまなざし、和やかで穏やか表情。真心のこもった言葉、労を尽くすこと。思いやること。などが心に残っています。十一日は六時起床、七時

から森下恵裕上人の法話を聞きした後朝食をいただきました。本日は講義はななくバス三台に分乗して、青島神社参拝、テレビがよく取り上げる宮崎県庁を訪ねましたが、知事さんにお会いすることはできませんでした。

十一時四十五分からの閉講式では、宗歌「立ち渡る」斉唱、法味言上の後、修了証をいただき、昼食をとり解散いたしました。このたびの九州教区研修道場で受講したことを生かし、これから「お題目結縁運動」の主旨を実践してい

第三十五回護法大会 お題目を次世代へ



編集委員 大瀬 和江
「護法大会」とは、熊本

県内一〇八の寺院と檀信徒とが一丸となり、お題目結縁運動を推進する大会のこゝとです。熊本地区組、城北地区組、宇城地区組、阿蘇地区組、天草地区組、今回開催の城南地区組と六地区が輪番で開催されています。平成二十年度の第三十五回護法大会は、十月三日、

くことが、私ができる勤めと受け止め、「お題目の灯」を一人でも多くの方へ伝えていきたいと思われました。和田さん、木下さん、本当にお世話になりました。合掌

八代市の厚生会館大ホールで開会されました。お天気にも恵まれ、圓頓寺より十五名参加いたしました。会場に到着して戸外でお城を眺めながらの昼食を、遠足気分で楽しみました。十二時三十分のオープニングセレモニーは、全国大会で優勝された秀岳館高校雅太鼓部による、「勇壮な「雅太鼓」の演奏を聴かせていただき、次いで山口顕



辰師の高座説法をありがたく拝聴しました。



宗歌「立ち渡る」斉唱

その後、修法師による「世界立正平和祈願」のご祈禱と、管内寺院教師出仕で「お施餓鬼法要」が力強く奉修されました。寺庭婦人会による「法華和讃」も奉納され、最後は立川談春師匠の落語で、久しぶりにお腹を抱えて笑い、ストレスもどこかへ吹き飛んだようなひとときでした。



お題目を次世代へ伝える運動の意味を持つ護法大会に、僧侶と信者が一堂に集まり、日蓮大聖人が唱えられたお題目を唱えることができ、参加された信者さんは、ありがたさを肌で感じられたことと思います。前回の護法大会（菊池市）では、大庭照子さんとDYO組お二人の美しい歌声で心が洗われ、今回は落語で笑い、心が癒されました。次回は、熊本市で開催される予定です。

お会式桜を手に法要

護持会役員 高森 年春

お会式法要は、宗祖日蓮大聖人の偉大なご生涯を称え偲ぶ大事な日と聞いています。大聖人が亡くなられたとき、時ならぬ桜の花が



護法大会参加の皆さん

圓頓寺のお檀家さんと共に多くの皆様と参加したいと思えます。お待ちしております。合掌

ビル新築工事から増改築まで何でも致します
住宅金融公庫其の他手続代行

井上組 有限会社

本総代 井上 勝 介
護持会会計
熊本県山鹿市下吉田691番地
TEL. 43-2204

慶弔用お花承ります
営業案内 生花・造花・鉢物



全国へお花が送れます。詳しくはお気軽にお電話で！
帯山プラザ内
熊本市三郎1丁目1-1-5 TEL096-387-4607

咲いたという故事にちなんだ、婦人会手作りのお会式桜を、受付を仰せつかつている私は、お詣りのお檀家様に心を込めてお渡ししました。

十月十三日、本堂が満席近くになりかけたところ定刻となり、筆頭総代山下と子様の挨拶がありました。そのなかで「自分が嫁いできた頃は、洗濯機の無い時代で近くの川が生活用水の一部で、姑は亡くなられておられ、舅はご自分で下着は川で洗濯して干しておられ、迂闊にも気付かなかつたこと、誠実な舅様のことをお話になりました。

● 本日のお会式における法話は、朝倉市甘木の大安寺秋吉上人様で、十六歳で出家されました。大安寺に行かせていただいたというこ



大安寺・秋吉上人の法話

とで自分自身を鍛えねばと、平成八年寒中苦行の大荒行に入行され、成満されました。大安寺のお檀家でこの春定年退職された方が、仏具代として百万円寄進され、祖父母の供養に太鼓を購入していただきたいと希望されました。事情をお聞きしたところ、子供の頃重い病気で、祖父が病氣平癒を祈願してお寺に日参されて、

快方に向かわれたそうです。小学校入学前のことですが、今も忘れずにおられる信仰の篤い方です。

● 後日談がありまして、この方が勤務しておられた図書館の駐車場に豪雨で大水が押し寄せ、車が数台流される被害が出たとき、前夜に車が流される夢を見て、自転車で通勤し難を逃れたという実例で、仏のご加護か、先祖のご加護があったのでしょうか。

● 法話の後、英知上人を導師に、英人上人始め四名のお上人様により厳かに『七二七回ご報恩お会式法要』が、婦人会手作りのお会式桜や檀信徒が育てたコスモス、ご住職が仕立てた小菊玉作りの花が御宝前に献華された本堂で営われました。

『南無妙法蓮華経』と唱題

建設業
砂利採取販売業
コンクリート二次製品製造販売

有限会社 **阿蘇品組**

代表取締役 阿蘇品 豊

山鹿市中483
電話(0968)44-7815

電気設備工事設計施工

有限会社 **中原電機商会**

代表取締役 中原徳男

熊本県山鹿市栄町298
電話(0968)43-2087



思親閣前の山本さん（前列左）

山鹿市鹿北町 山本 勝一

両親と身延山参拝

のなか、婦人会代表三名の方々の供膳の儀と、総代・婦人会・信行会代表の方による一字一石写経の儀が行われました。

法要終了後檀信徒会館へ移動し、婦人会・当番地区の方々が心を込めて作られ

た「本膳料理」を、感謝しながらおいしくいただきました。

最後になりましたが、投稿するよう勧めていただきましたお上人様に御礼申し上げます。

南無妙法蓮華經

私は初めて日蓮大聖人ゆかりの聖地を参拝する旅に参加いたしました。三ヶ寺合間で総本山身延山、京都の諸本山参拝旅行を終え、感動・感謝の連続でした。三泊四日の旅を振り返っています。

始めて訪れました身延山久遠寺では五重塔の偉容、その見事さに旅の疲れを忘れしばらく見とれてしまいました。午後二時から久遠



身延山・久遠寺での大法要

寺大本堂の大法要に参加しました。読経と太鼓の響きには胸に迫るものがあり、今でもその感動は忘れることができません。感動の心が一杯です。

私は、お盆お施餓鬼法要の際、行衣を授与いただいた時誓いの言葉を述べましたとおり、これからは、法華經の教えを生活の基本として微力を尽くすことを心

くつ・はきもの専門店



やまが中町商店街
☎(0968)43-2282

お食事処



山鹿市花見坂330~13 ☎44-6435

に誓いながら、今回の本山参拝旅行で思いを強くいたしました。お題目の力を信じ続け、思いを実行し続けることと教わりました。

またこの団参で多くの皆様方と知り合い、「輪」を拡げることができ感謝の心で一杯です。

先祖供養、これほど安堵の時を過ごせるものは無い。そう思い、私は十年前にお墓を建てました。ご先祖様お一人お一人が眠るお墓がたくさんあり、まずは家系を調べようと役所に何度も足を運びました。墓石も全て調べ、遙か江戸時代の嘉永までさかのぼり、ご先祖様のことが明確になり、子から孫へ、そしてひ孫へ受け継がれていくことを、心からありがたく思います。

今年父の三十七回忌と母



思親閣前の松本さん（後列右）

阿蘇市黒川 松本 妙子
今回の団参は、日蓮宗の

三ヶ寺合同団参を終えて

の三回忌の法要をすませ、亡き両親の御霊を背負い、身延山へ参拝しました。本当に心洗われるとはこういうことかと思えるほど、厳肅な気持で参拝させていただきました。

これからもご先祖様を大切に思い、私にできる供養をしていきたいと思っています。私がまだ元気なうちに、今度は息子夫婦と共に身延山参拝に参加したいと願っております。合掌

総本山や、門跡寺院（代々、皇族の縁故者が住職を務める寺院のこと）、多くの本山にお詣りできるといふ事が大きな魅力でした。

十月二十二日午前五時、圓頓寺に集合、本堂において本山参拝団参の安全を祈願して出発。福岡空港にて、妙教寺、大安寺そして私たち圓頓寺が集合して羽田空港へ。高速道路を走って、車中にて昼食をとり、総本山・身延山久遠寺へ到着。

JA鹿本(株)鹿本広域福祉センター総合葬祭会館

やすらぎの里



天寿苑

〒861-0535 熊本県山鹿市南島1246(山鹿大橋そば)

TEL. 0968-44-0983

葬儀場・法事会館を併設した総合葬祭会館です

「久遠寺総登詣記念大法要参拝」をいたしました。法要終了後ロープウェイにて奥の院思親閣、御廟所参拝。帰路立ち寄った草庵は、木立の中にひっそりと静まっています。

翌朝は朝のお勤めのために暗いうちから宿坊を出ました。気になっていた天気はくずれましたが、白々と夜が明ける中に総本堂は雨に煙っていました。静まりかえった境内に佇みながら、身の引き締まる何かを感じました。朝のお勤めには、檀信徒の方々数百人の読経が本堂に響き渡って、身が震え感動を覚えました。滋賀の八幡山の村雲御所・瑞龍寺は、明治二十年以来圓頓寺に関わりが深い寺院だとお聞きして、交流の歴史を感じました。



洛中本山・妙覚寺にて

三日目の奥比叡の横川定光院は深山幽谷を思わせる霧の中でした。日蓮大聖人が読誦に研鑽に励まれた旧跡だそうで、大きな銅像がありました。延暦寺根本中堂、京都市内の妙覚寺、四日目の妙顕寺、立本寺、本法寺と参拝を重ね、団参を終えましたが、市内とは思えない静寂の中の広い庭園に、心が洗われる思いで癒

されました。

総本山・身延山久遠寺、村雲御所・瑞龍寺、横川定光院は、特に心に残る寺院でした。

出発前まで心細い思いの私でしたが、団参に参加し皆さんとのお付き合いができ、楽しい旅となりました。ことに感謝致します。

信心にはまだまだ未熟な私ですが、この団参を糧に日々精進していきたく思います。

こだま呼ぶ

読経は 霧の

滝修行

紅葉して

古刹の 僧の

袈裟清し

合掌

ニッセイ同和損害保険株式会社

熊本支店

〒860-0804 熊本市辛島町5-1 日本生命熊本ビル

☎ (096) 353-3491 FAX (096) 355-7380

半年を振り返って

信行会会長 木下美枝子



明けましておめでとうございませう。皆様お揃いで良き年をお迎えのことと存じます。

昨年七月二十三日の本妙寺の頓写会、八月二十六・二十七日の管区研修道場（本妙寺）、九月十・十一日の教区研修道場（宮崎市）、九月二十九・三十日熊本県日蓮宗青年会主催の信行の会で宮崎へ、十月三日は八代厚生会館で護法大会、そ

して、十七年に妙教寺、大安寺、圓頓寺の合同で佐渡にお詣りに行きましたが、また再び合同で行けたらいいなと思っていたことが実現し、十月二十二〜二十五日三か寺合同で身延から京都へと団参することが出来ました。十一月二十日城北地区の輪番信行会が菊池の興福寺で盛大に執り行われました。

圓頓寺の行事、婦人会の行事の他に外に出での会合に多くの皆様の参加、協力をしていただき、共に学び、信行を重ねられることを、大変嬉しくありがたく思っています。本年二十一年四月に中央研修道場が、日蓮大聖人が



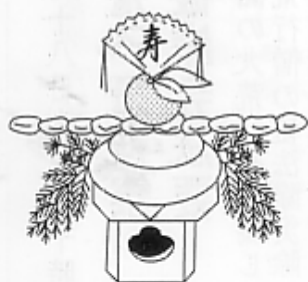
日蓮聖人像前にて

立教開宗された千葉の清澄寺で開催されます。今までのこの研修には参加したことありませんが、いつも本妙寺の研修等で講師としてご指導していただいている熊本県布教師会会長長渡辺上人が、全国から集まる中央の研修道場の講師をされるとのこと。県の宗務所からも、沢山の方の参加をいただきたい。費用も補助したい。とお話があつています。

昨年より計画されていませう、熊本県中の寺院の信徒合同で、身延総本山から京

都の本山への団参が、十月二十〜二十三日に計画されています。圓頓寺は、昨年同じような団参をいたしてありますが、本山には何度行っても感動があります。五重の塔も完成してお詣りするにも出来るでしょう。楽しみなことと思います。今年も、写経し頓写会にお詣りして、管区・教区の研修に参加し、皆様と共に勉強させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

南無妙法蓮華經



平成十七年度～平成三十四年度
りゅうしょうあんこく

立正安国・ お題目結縁運動

日蓮宗

お寺の行事

一月十三日(火)

日蓮大聖人報恩

午前十時

初講法要

宗祖日蓮大聖人の正月の初御命日に講をおこして、御入滅をしのび、報恩のお祈りをささげる聖日です。

二月三日(火) 午前十時

開運 節分析祈祷会

除災招福・星祭祈祷

一月二十日

日蓮大聖人報恩

九日間・夜七時

大寒・寒修行

毎夜七時から山鹿市内を巡回します。お上人と共に修行しましょう。出来ない方はご供養しましょう。

二月十六日(月) 午前十時

宗祖降誕会

御誕生をお祝する日

三月二十八日(土) 午前十時

鬼子母神祭

彼岸会法要

百日間の大荒行を成満した、荒行僧の秘法除災除厄祈祷が行われます。

五月三日(祝日) 午前十時

立教開宗会

大黒天まつり

六月二十三日(火) 午前十時

清正公・頓写会

御入滅を偲ぶ日

輪番おとぎ、掃除当番地区表

本年度の輪番おとぎ、掃除当番地区は次の通りです。
該当々番地区の皆様のご支援と御協力をお願い申し上げます。

3月28日(土) 鬼子母神祭

市町名	鹿本市	鹿本町	鹿北町
町名	霊仙、志々岐、鹿校通、熊入町	大宮町、大宮町、堀明町	小柳、来民、来民、来民
地区総代名	西川、坂梨、高松、塚本、井上、阿蘇、阿蘇、大久保、黒山、白石、福山、高森	信子、進次、栄治、宗徳、賢一、修一、修一、修一、修一、修一、修一	信子、進次、栄治、宗徳、賢一、修一、修一、修一、修一、修一、修一
人員	11	6	7

1月13日(火) 初講会

市町名	鹿本市	鹿本町	鹿北町
町名	小原、桜町、桜町、中村、東通、庄久	多生、芋生、一木、須屋、小川、麻生、福原、中津川、陣内	野上、野上、野上、野上、野上、野上、野上、野上、野上、野上、野上
地区総代名	大津山、松本、鬼木、竹崎、原口、佐藤、鶴川、安田、山本、黒田、古家、川上、野上、西牟田	博行、哲雄、次郎、省一、利治、隆幸、弘之、賢二、文、明、遙、吾、男、長	博行、哲雄、次郎、省一、利治、隆幸、弘之、賢二、文、明、遙、吾、男、長
人員	5	4	3

7月24日(金) 施餓鬼会

市町名	鹿本市	和水町	全地区
町名	平小、温泉、大宮、花見、温泉、上広、栄、大橋、太田、岩、岩、岩	井上、川本、瀬口、単独、藤本、中、古、中、横、徳	井上、川本、瀬口、単独、藤本、中、古、中、横、徳
地区総代名	敏幸、アヤ子、ミズ子、布、賢子、康一、由治、昇、クニエ、克己	敏幸、アヤ子、ミズ子、布、賢子、康一、由治、昇、クニエ、克己	敏幸、アヤ子、ミズ子、布、賢子、康一、由治、昇、クニエ、克己
人員	7	9	13

5月3日(祭日) 大黒天祭

市町名	鹿本市	鹿本町	鹿北町	植木町
町名	長坂、宮宛、石、日吉、松坂、栗林、原、下米、岩原、寺米、一、豊	星子、井上、山下、島本、坂本、原、谷、田、原、丸、前、菊	幸治、勝介、子、子、子、子、子、子、子、子、子、子、子	幸治、勝介、子、子、子、子、子、子、子、子、子、子、子
地区総代名	幸治、勝介、子、子、子、子、子、子、子、子、子、子、子	幸治、勝介、子、子、子、子、子、子、子、子、子、子、子	幸治、勝介、子、子、子、子、子、子、子、子、子、子、子	幸治、勝介、子、子、子、子、子、子、子、子、子、子、子
人員	30	2	2	2

12月8日(火) 荒神大祭

市町名	鹿本市	全地区
町名	栗林、桜町、八之、久、方、方、藤、石、石、杉	佐藤、単独、伊藤、大塚、城、小、野、永、石、池、前、池
地区総代名	敏、布、千恵子、繁敏、ケイ子、進、雄、コ、浩、一、誠	敏、布、千恵子、繁敏、ケイ子、進、雄、コ、浩、一、誠
人員	6	3

10月13日(火) 御会式法要

市町名	南関町	和水町	鹿本市	鹿本町	鹿北町	菊鹿町	
町名	上坂、江、久、下、西、上、九、下、上、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿	上坂、江、久、下、西、上、九、下、上、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿	上坂、江、久、下、西、上、九、下、上、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿	上坂、江、久、下、西、上、九、下、上、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿	上坂、江、久、下、西、上、九、下、上、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿	上坂、江、久、下、西、上、九、下、上、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿	上坂、江、久、下、西、上、九、下、上、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿
地区総代名	上坂、江、久、下、西、上、九、下、上、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿	上坂、江、久、下、西、上、九、下、上、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿	上坂、江、久、下、西、上、九、下、上、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿	上坂、江、久、下、西、上、九、下、上、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿	上坂、江、久、下、西、上、九、下、上、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿	上坂、江、久、下、西、上、九、下、上、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿	上坂、江、久、下、西、上、九、下、上、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿、鹿
人員	3	3	5	3	3	4	

あとがき

○アメリカ発の金融危機が地球を駆けめぐり、円高、株安基調での乱高下、企業倒産、解雇など生活不安が襲いかかっています。サブプライム住宅ローンが発端でしたが、家を買うために借りた借金が証券化され売買されるなんて、私には理解できません。

○アメリカがくしゃみすると日本が風邪をひくと言われますが、アメリカで初の黒人大統領が誕生します。世界が平和になることを願っています。

○昨年はサミット、オリンピックと大きなイベントがありました。国内では、安倍元首相につづいて、また一年も持たずに福田前首相が辞任し、麻生首相が誕生しました。あなたはどう感じられましたか。

○会計検査院によると、十二道

府県で税金の無駄使い・徴収不足一二五三億円、不正経理一億円、預け一億円が明らかにになりました。

○その後熊本県でも預けが明らかになり、他に数県で不適切な経理処理が出て来ました。

○一昨年を現す漢字は「偽」でした。昨年も偽装の報道をモシただけで三十五件以上あり、私は覚えきれません。そして農薬に汚染された米を食用に売るといふ、とんでもないこともありました。

○振り込め詐欺が相変わらず頻発しています。手口も巧妙になり新手が出て来ています。檀信徒の皆様もご注意ください。

○食品に殺虫剤、防虫剤、有害物質が混入、食品をつくる地下水からシアン化合物が検出されました。

○日蓮大聖人は、七五〇年前に見通されていたのか、『仏法よ

うやく顛倒しければ世間も又濁乱せり』とおっしゃっています。分かりやすく言いますと、『仏法が乱れてくるとこの世のすべてのもの、自然界も、政治・経済・我々の生活も乱れてくる』ということです。お題目を皆で唱えることによつて自分を正すことが大事です。そうすれば、この乱れた世の中もきつと正されてくることでしょう。

○ノーベル物理学賞・化学賞を四名の日本人学者が受賞。暗い世の中で数少ない明るい話題でした。圓頓寺でも昨年十一月に薫さんの結婚というお慶びがありました。

○昨年、鬼木前会長、田原前総代、信行会より圓頓寺に長椅子が寄贈され、駐車場用地が隣接地に取得でき、六大法要や諸々の行事に参加しやすくなりました。

発行所
山鹿城址
湯の町てら

常明山 圓頓寺

熊本県山鹿市山鹿温泉五五
☎ 四三二二四二四代
☎ 四四一五一〇〇
FAX・四三二七二八二ハ
電子メール: a0115@orange.ocn.ne.jp
ホームページ: www.entonji.jp

非売品
編集・圓頓寺たより編集委員会

印刷所
山鹿市下町一八〇七
有限会社
盛文社印刷

☎ 四三二二六〇四
FAX・四三一六〇七五
メール: info-seibunsha@hyper.ocn.ne.jp